

KUSHIRO KIZUNA  
**くしろ木づな**  
**フェスティバル 2019**

11/9<sup>土</sup>・10<sup>日</sup>  
10:00-16:00 10:00-15:00

くしろに広がるみんなの森林  
～すごいぜ「木づな」10周年～



場所 釧路市観光国際交流センター  
主催 くしろ木づなフェスティバル実行委員会  
( 釧路市、釧路森林資源活用円卓会議 )

### くしろ木づなフェスティバル実行委員会

実行委員長 ～ 鈴木一浩 (釧路森林資源活用円卓会議座長)  
実行委員 ～ 【釧路森林資源活用円卓会議】荒井誠 (副座長)、大澤友厚 (川上部会長)、  
長谷川渉 (川下部会長)、伊東幸裕 (川上)、山崎正明 (川上)、石川加太 (川下)、瀧本文一  
(川下) 北海道森林管理局根釧西部森林管理署 北海道釧路総合振興局 (林務課・森林室)  
【釧路市】産業振興部農林課・産業推進室

釧路・根室圏域木育フェスタ キックオフイベント  
国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」助成事業

# 開催概要

資料 1

- 名 称** くしろ木づなフェスティバル 2019  
くしろに広がるみんなの森林～すごいぜ「木づな」10 周年～
- 主 催** くしろ木づなフェスティバル実行委員会  
(釧路市、釧路森林資源活用円卓会議)
- 開催日時** 2019 (令和元) 年 11 月 9 日 (土) 10:00～16:00・10 日 (日) 10:00～15:00
- 会 場** 釧路市観光国際交流センター
- 出展者数** 35 企業・団体
- 出展内容** 林業・木材産業関係展示・販売、木育広場、木工体験、ステージイベント等
- 来場者数** 4,120 人 (11/9...1,853 人、11/10...2,267 人)

**後 援** 北海道森林管理局根釧西部森林管理署、北海道釧路総合振興局、釧路市教育委員会 (公財)釧路根室圏産業技術振興センター、北海道新聞釧路支社、釧路新聞社、FM くしろ、NHK 釧路放送局

**協賛団体** 厚岸町森林組合、厚岸木材工業協同組合、音別林産振興会、釧路建材協会、(一社)釧路建設業協会、釧路市建設事業協会、釧路建具家具生産協同組合、釧路地区森林組合振興会、釧路地区製材経営協議会、(一社)釧路地方建築協会、(一社)釧路地方林業会、くしろ西森林組合、釧路東森林組合、厚浜木材加工協同組合、地産地消くしろネットワーク、弟子屈町森林組合阿寒事務所、東北海道木材協会、(一社)北海道建築士事務所協会釧路支部、北海道木材産業協同組合連合会、北海道木材利用推進協議会、北海道木質構造開発協議会、(一社)北海道林産物検査会、(一財)前田一步園財団

**協賛企業** 葵建設(株)、アーキ工房、(株)アサヒ、(株)イチムラ、エステー(株)、王子木材緑化(株)、大澤木材(株)、(株)小野寺組、釧路信用金庫、釧路スチレン(株)、近藤林業(株)、迫田建設(株)、佐藤木材(株)、昭海建設(株)、(株)新宮商行、札鶴ベニヤ(株)、白糖木材(株)、真栄木材(株)、田家木材(株)、高坂林業(株)、タケダ産業(株)、(有)谷口種苗農園、土井木材(株)、得地ファニチャ工業(株)、野田木材工業(株)、(株)長谷川建築設計事務所、藤田印刷(株)、(株)不二木材、(株)北都、(株)北洋銀行、(株)北海道大井、増井林業(株)、丸善木材(株)、三浦建築設計事務所、(有)山二伊東産業、雄別林業(株)、和信化学工業(株)





## シンボルツリー

協力：近藤林業(株)

## 木づなステージ

協力：丸善木材(株)

会場の中心に最大6mのアカエゾマツとトドマツのツリー4本をシンボリックに立てました。その前側には、カラマツ材で作られたモクレンガパネルのステージを設置。様々なイベントを開催し会場を盛り上げました。



## ステージイベント



森林戦士「セバスチャン」ショー  
悪のカリスマから釧路の森林を守れ!!



ヒートボイス with 鈴木一浩バンド  
「木づな」で実現した夢の共演



小物入れの製作体験  
協力：釧路建具家具生産協同組合



高さを競え! 不揃いの積み木競争  
協力：釧路地区製材経営協議会



宮大工の技・槍鉋実演  
出演：(一社)釧路地方建築協会



タップダンスショー  
出演：石川志乃 Step by Step



HIPHOP ダンス  
出演：ECSTATIC!



木のサイエンスショー  
出演：釧路市こども遊学館

## 木育広場

協力：丸善木材(株)・得地ファニチャ工業(株)・熊の家 藤戸

製作される度に新たなデザインが取り入れられる「ツリーハウス」幼児から楽しめる「木の玉プール」や「積み木」魚箱をアレンジしたドリフト走行もできる乗り物「魚〜カート」など、1日遊んでも飽き足りない子どもたち続出。



## トンカチ広場

協力：釧路地区製材経営協議会

会場内にトンカチの音が景気よく鳴り響きます。乱尺の板材を組み合わせて様々なオリジナル作品ができました。親子で熱中しすぎるので、どうしても長居してしまいます。



## チェーンソーアート実演

出演：齋藤和紀氏

海外の大会に毎年参加し表彰歴もあるチェーンソーアーティストによるパフォーマンスを行いました。作品の一部は、釧路工業技術センターに展示しています。



## 高性能林業機械「ハーベスター」の実演

協力：大澤木材(株)

林業の現場さながら、市街地に機械と丸太を用意。枝払いや玉切りといった造材作業を実演しました。ハーベスターの構造も詳しく紹介しました。





釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 2019年(令和元年)12月24日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課  
085-0805  
釧路市黒金町7丁目5  
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyoutu/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

## くしろ「木づな」プロジェクト

### 「WOODコレクション令和元年」に出展

#### 【概要】

2019年(令和元年)12月10日(火)～11日(水)に東京ビッグサイトで開催された「WOODコレクション令和元年」に、釧路森林資源活用円卓会議より「くしろ木づなショーケース」を出展したほか、円卓構成企業の丸善木材(株)・札幌ペニヤ(株)・(株)北都(エステー(株))が出展しました。

首都圏等の商社やハウスメーカー・工務店、行政等の関係機関など多くの来場者が釧路ブースを訪れたほか、円卓会議の取組についてプレゼンテーションを行い、釧路地域の取組のPRを行いました。

■日時 2019年(令和元年)12月10日(火)～11日(水)

■場所 東京ビッグサイト

#### 【出展風景】



#### <釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、2005年(平成17年)の3市町合併により、森林面積は約10万ha(全道の市で1位)。まさに釧路市は「森林都市」。「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年(平成22年)11月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部農林課  
(担当) 神成 大輔  
TEL : 0154-31-2552  
FAX : 0154-31-2553



魚～カート



魚箱の活用(エステー)



魚箱の活用(アイヌアート)



スマホスタンド



木彫り熊トロフィー



木工作ワークショップ



釘を使わない本立て

1. 道立「北の森づくり専門学院」の概要

開校 : 令和2年4月 (校舎: 旭川市)  
入学者数 : 35名

2. 地域実習と受入態勢の概要

校舎(本校)は旭川市に設けられるが、インターシップなどの実習は道内各地域において行われるため、地域において支援体制の構築が必要となっている。

釧路地域においては「釧路地域林業・木材産業担い手確保推進協議会」の下部組織として「北森カレッジ部会」を設立され、受入れに向けた調整が行われている。

・実習予定

令和2年度(1年次): 地域見学や短期インターシップを予定

- ・短期インターシップ: 10月・1月 (4日間/回)
- ・地域見学実習 : 11/19-20, 11/26-27 各20名

令和3年度(2年次): 長期就業実践研修及び地域実践実習を予定

- ・長期就業実践研修: 5~7月 (3週間/回)
- ・地域実践実習 : 10月 (2週間)

3. 円卓会議の関わり

- ・「釧路地域林業・木材産業担い手確保推進協議会北森カレッジ部会」が行う地域実習やインターシップの受入れに対して協力
- ・受入れ事業者の負担を軽減する方法の検討
- ・卒業生が釧路地域における林業・木材産業の担い手となるような仕組みの検討

## JAS 構造材個別実証事業（2次募集）

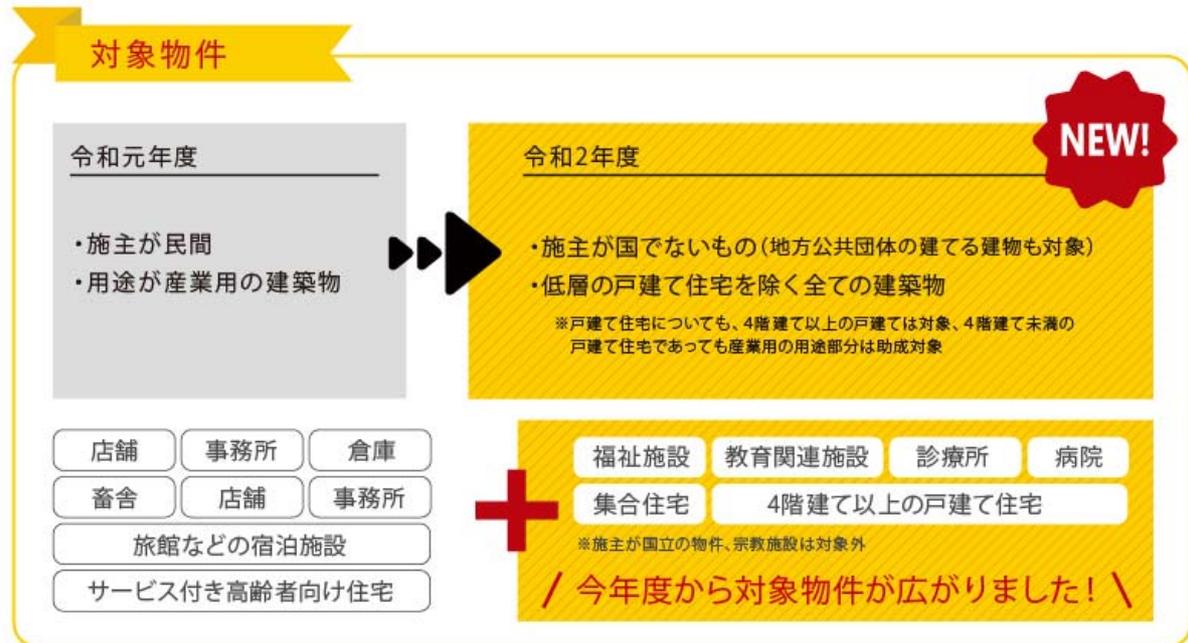
### 【事業概要】

JAS 構造材活用宣言事業における登録事業者が、低層の戸建住宅を除く建築物（施主が国以外）において、構造部分に JAS 構造材を利用することを通じて、設計、調達、施工時等における JAS 構造材の利用に関する課題の抽出、改善策の提案などを行うものに補助する。

### 【募集機関】

（一社）全国木材組合連合会（北海道内は北海道木材産業協同組合連合会が申請窓口）

### 【対象物件及び木製品】



- ①機械等級区分構造用製材：柱、梁桁（トラス含む）、土台に使用（一部可）
  - ②2×4用製材：構造部分に使用（一部可）
  - ③CLT：構造部分に使用（一部可）
  - ④構造用集成材（中断面以上）：短辺 75 mm以上、長辺 150 mm以上
  - ⑤構造用 LVL
- } R2 から対象

### 【補助率等】

定額（構造用製材・2×4・集成材・LVL：5万円/m<sup>3</sup>、CLT：14万円/m<sup>3</sup>）

2分の1（その他林産物 JAS）

※いろいろ条件がありますので詳細は公募要領を参照してください（🔍「JAS 構造材」）。

### 【事業主体】

対象物件の建築業者（建築工事業又は大工事業の許可を受けた法人）

### 【申請期限及び事業完了期限】

令和2年10月30日までに申請、審査結果通知後に材料発注し、12月18日までに助成対象木材の建て方を完了し、交付申請書の提出が必要。

### 【その他】

7月6日に札幌で説明会があります（過剰木材在庫利用緊急対策事業と併せて実施）。

釧路森林資源活用円卓会議 川下部会 「商品企画研究会（仮称）」  
進め方の案

(想定メンバー)

円卓会議構成企業若手社員

玉垣木工(株)・得地ファニチャー工業(株)・(株)長谷川建築設計事務所・丸善木材(株)  
熊の家 藤戸氏

ほか適宜

釧路工業技術センター 瀧本専門員(アドバイザー)

釧路市産業振興部 神成、田戸岡(事務局)

※デザイナー等の講師招聘も検討

(日程)

第1回は7月中旬頃とし日程調整予定

以降は2~3か月に1回くらいを想定

(研究会会場)

釧路工業技術センター会議室

(研究会の内容・目的)

- ・異業種の視点・若手の視点からアイデア発掘
- ・最終的には管外にも売れるような商品開発 → 展示会 を目標\*

※R3.2月の「メイドインくしろ」で試作品展示

→ R3.7月の「ウッドデザイン賞」、R3.12月の「モクコレ」等

(想定活動内容)

- ・企業見学会
- ・開発ミーティング
- ・試作
- ・展示会出展

※原則本業優先で取り組む

(開発する物)

- ・メンバーの興味のある製品から、木づなブランド化できるようなシリーズもの  
(展示・PRを意識)

(その他)

- ・目標はあるものの、まずは結果を求めずやってみることから
- ・研究会名称は1回目のミーティングで決める
- ・R3は林野庁補助事業（顔の見える木材での快適空間づくり事業）の利用も検討

令和2年度事業イベント等実施スケジュール

令和2年度事業計画【資料7】

月日	取組内容	場所	※備考
4月	上旬	(今年度事業計画の検討)	
	中旬		
	下旬		
5月	上旬		
	中旬		
	下旬		
6月	上旬		
	中旬		
	下旬	円卓会議総会	
7月	上旬		
	中旬	(仮称)木製品開発研究会の設置	
	下旬		
8月	上旬		
	中旬	釧路合同企業説明会	釧路プリンスホテル 主催:釧路市地域雇用創造協議会 共同出展:担い手協議会
	下旬		
9月	上旬		
	中旬	大人の木育教室	
	下旬	(仮称)GPS活用研修会	
10月	上旬		
	中旬		
	下旬	くしろ安心住まいフェア	釧路こども遊学館 主催:釧路総合振興局
11月	上旬	木育・森づくりフェア	イオンモール釧路昭和 主催:釧路町村会等
	中旬		
	下旬		
12月	上旬	じもと×しごと発見フェア	国際交流センター 主催:北海道 共同出展:担い手協議会
	中旬		
	下旬		
1月	上旬		
	中旬		
	下旬	(仮称)森林認証取得に向けた研修会	
2月	上旬	メイドインくしろへの出展	
	中旬		
	下旬	大人の木育教室	
3月	上旬		
	中旬	新規高等学校卒業予定者等企業説明会	国際交流センター 主催:教育局等 共同出展:担い手協議会
	下旬		

※時期・内容は現段階の計画であり、今後変更になる可能性もあります。

1. 森林認証の取得状況

- ・北海道内における森林認証の取得状況（北海道公表資料）（資料 8-2）
- ・釧路管内の現状 認証取得済面積：約 3 万 ha（主に王子グループ・日本製紙グループ）  
国有林・道有林・市有林の取得無し

2. 認証取得に向けた検討の必要性

- ・首都圏など域外に向けた販路の開拓  
（「釧路」のイメージ向上、需要に対する木材供給力などにおいてスケールメリットを誇示できる）

3. 取得に向けた対策・課題

- ・スケールメリットを得られるよう、多くの関係者の賛同を得る必要がある。  
（私有林所有者・国・北海道・市町村などで一体でとることを想定）
- ・道や市町村の協力を得やすい環境を作る必要がある。

4. 円卓会議における取組

- ・取得に向けたきっかけとして、円卓会議にて議論を起し、検討していきたい。
- ・今年度の事業として、外部講師を招聘し認証取得に向けた勉強会を開催するとともに、検討に向けた議論を行っていきたい。

# ○北海道内の森林認証取得状況

## 【全道一円】

王子グループ	124,637 ha (SGEC)	港エステート㈱	4,939 ha (SGEC)
日本製紙㈱	43,583 ha (SGEC)	山大産業㈱	4,752 ha (SGEC)
三井物産㈱	35,692 ha (FSC・SGEC)	三菱マテリアル㈱	11,452 ha (SGEC)
千歳林業㈱	17,569 ha (SGEC)	住友林業㈱	18,199 ha (SGEC)

※小数点以下端数処理により  
合計値と異なる場合がある。

北海道の森林管理認証面積は、

- 全国の森林管理認証面積の約**58%**
- 道内の森林面積の約**26%**を占めています。

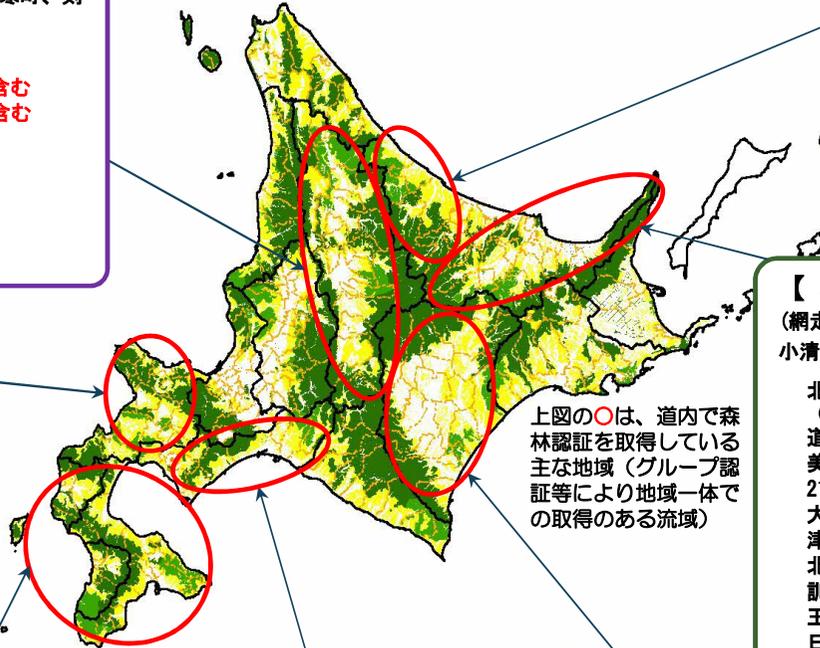
※下記流域以外の道内各地に各社合計 **142,976 ha**

## 【網走西部流域】 合計 **328,525 ha**

(紋別市、遠軽町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町 計7市町村)

北海道森林管理局 (網走西部森林管理署・西紋別支署)	190,603 ha (SGEC)
道有林(網走西部管理区)	66,268 ha (SGEC)
林-ツツワレストネットワーク	25,946 ha (SGEC)
滝上町森林組合グループ	5,178 ha (SGEC)
紋別市	2,260 ha (SGEC)
滝上町	3,036 ha (SGEC)
王子グループ(再掲)	13,064 ha (SGEC)
日本製紙㈱(再掲)	5,391 ha (SGEC)
千歳林業㈱(再掲)	115 ha (SGEC)
港エステート㈱(再掲)	213 ha (SGEC)
住友林業㈱(再掲)	15,828 ha (SGEC)
佐藤木材工業㈱	622 ha (SGEC)

## 北海道内の森林管理認証面積 約**144.6万ha**



上図の○は、道内で森林認証を取得している  
主な地域(グループ認証等により地域一体での取得のある流域)

## 【上川流域】 合計 **223,016 ha** (※合計に重複分は除く)

(旭川市、士別市、名寄市、富良野市、鷹栖町、比布町、東神楽町、美瑛町、東川町、当麻町、愛別町、上川町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村、和寒町、剣淵町、下川町、美深町、音威子府村、中川町、幌加内町 計23市町村)

道有林(上川北部・上川南部管理区)	118,430 ha (SGEC)
下川町森林組合(下川町)グループ認証	8,462 ha (FSC) ※SGECとの重複含む
上川森林認証協議会	89,598 ha (SGEC) ※FSCとの重複含む
王子グループ(再掲)	11,169 ha (SGEC)
日本製紙㈱(再掲)	1,446 ha (SGEC)
三井物産㈱(再掲)	154 ha (FSC・SGEC)
千歳林業㈱(再掲)	269 ha (SGEC)
港エステート㈱(再掲)	997 ha (SGEC)
山大産業㈱(再掲)	19 ha (SGEC)

## 【後志流域】 合計 **15,411 ha**

(島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町、真狩村、留寿都町、喜茂別町、京極町、倶知安町、共和町、泊村、神恵内村、積丹町、古平町、仁木町、余市町、赤井川村、小樽市 計19市町村)

ようてい水源の森林づくり推進協議会	2,605 ha (SGEC)
王子グループ(再掲)	5,260 ha (SGEC)
日本製紙㈱(再掲)	1,603 ha (SGEC)
三井物産㈱(再掲)	612 ha (FSC・SGEC)
千歳林業㈱(再掲)	4,243 ha (SGEC)
山大産業㈱(再掲)	16 ha (SGEC)
三菱マテリアル㈱(再掲)	909 ha (SGEC)
港エステート㈱(再掲)	163 ha (SGEC)

## 【網走東部流域】 合計 **306,175 ha**

(網走市、北見市、大空町、美幌町、津別町、斜里町、清里町、小清水町、訓子府町、置戸町、佐呂間町 計11市町)

北海道森林管理局 (網走中部・網走南部森林管理署)	243,167 ha (SGEC)
道有林(網走東部管理区)	41,860 ha (SGEC)
美幌町グループ認証	2,541 ha (FSC)
21世紀循環の森づくり推進協議会	3,872 ha (SGEC)
大空町	1,430 ha (SGEC)
津別町	1,351 ha (SGEC)
北見市	3,295 ha (SGEC)
訓子府町	1,254 ha (SGEC)
王子グループ(再掲)	5,308 ha (SGEC)
日本製紙㈱(再掲)	1,890 ha (SGEC)
三井物産㈱(再掲)	19 ha (FSC・SGEC)
千歳林業㈱(再掲)	140 ha (SGEC)
港エステート㈱(再掲)	48 ha (SGEC)

## 【胆振流域】 合計 **57,398 ha**

(豊浦町、洞爺湖町、社管町、伊達市、登別市、白老町、安平町、厚真町、むかわ町、苫小牧市 計10市町)

北海道森林管理局 (胆振東部森林管理署 むかわ町穂別地区)	20,251 ha (SGEC)
道有林(胆振管理区)	12,934 ha (SGEC)
循環の森づくり推進協議会	7,338 ha (SGEC)
王子グループ(再掲)	3,314 ha (SGEC)
日本製紙㈱(再掲)	1,168 ha (SGEC)
三井物産㈱(再掲)	6,265 ha (FSC・SGEC)
山大産業㈱(再掲)	876 ha (SGEC)
港エステート㈱(再掲)	62 ha (SGEC)
千歳林業㈱(再掲)	2,109 ha (SGEC)
三菱マテリアル㈱(再掲)	1,855 ha (SGEC)
日鉄鉱業㈱	1,227 ha (SGEC)

## 【十勝流域】 合計 **193,081 ha**

(士幌町、鹿追町、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町、音更町、上士幌町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、帯広市 計19市町村)

道有林(十勝管理区)	45,163 ha (SGEC)
とちか森林認証協議会	124,977 ha (SGEC)
王子グループ(再掲)	8,660 ha (SGEC)
日本製紙㈱(再掲)	2,743 ha (SGEC)
三井物産㈱(再掲)	4,420 ha (FSC・SGEC)
千歳林業㈱(再掲)	450 ha (SGEC)
ニッパ㈱	6,667 ha (SGEC)

## 【渡島・檜山流域】 合計 **179,797 ha**

(江差町、上ノ国町、厚沢部町、せたな町、今金町、函館市、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町 計16市町)

道有林(渡島東部・渡島西部管理区)	83,807 ha (SGEC)
はこだて森林認証推進協議会	78,940 ha (SGEC)
王子グループ(再掲)	539 ha (SGEC)
日本製紙㈱(再掲)	5,641 ha (SGEC)
三井物産㈱(再掲)	2,359 ha (FSC・SGEC)
千歳林業㈱(再掲)	3,296 ha (SGEC)
山大産業㈱(再掲)	1,785 ha (SGEC)
三菱マテリアル㈱(再掲)	3,430 ha (SGEC)

## ○森林環境税および森林環境譲与税について

資料 9

### ①基金の設置

- ・複数年度分の譲与税をまとめて執行することができる。
- ・事業準備等の手続き上単年度で執行できない。

といったことが想定されるため、市において基金を設置し、譲与税を受け入れる。

⇒平成31年4月1日基金設置

### ②2019年度（平成31年度・令和元年度）の釧路市の主な取組内容

- ・新たな森林管理制度（森林経営管理法）の実施に伴う森林所有者への意向調査
- ・私有林整備に対する支援
- ・木材利用促進・普及啓発への取組に対する支援 等

※用途については、法律に基づき、決算を議会の認定に付す際に公表を行う予定。

### ③令和2年度の主な取組内容 （予算額 15,599 千円）

- ・新たな森林管理制度（森林経営管理法）の実施に伴う森林所有者への意向調査
- ・私有林整備に対する支援
- ・木材利用促進・普及啓発への取組に対する支援
- ・人材育成に対する支援 等

※国による譲与額の前倒しを受け、今後各事業の拡充を検討していく予定。